

U10 奈良ジュニアサーキット大会 2017 第5戦

大会要項

- 【主催】 奈良県テニス協会
【特別協賛】 ヨネックス株式会社
【開催期日】 平成29年7月25日(火) アウトドア 予備日：なし 雨天中止 9：00集合
【会場】 会場：モリタテニススクール学園前
【コート】 砂入り人工芝(4面) 当日雨天のお問い合わせ先(欠席の連絡先)：TEL：0742-45-4135
雨天中止の場合の判断、当日AM7:30以降に各自でお問い合わせください。
【種目】 10歳以下 シングルス(男女混合) **グレードB大会**
【運営役員】 奈良県テニス協会ジュニア委員会
【レフェリー】 丸谷圭司
【試合方法】 5名1ブロックでの予選リーグを行い、予選1位通過者のみ、本戦トーナメントを行います。
予選リーグは4ゲーム先取。本戦は6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)で行います。
※当日は、予選敗退者のうち希望者は、タイブレークマッチでの練習試合を行います。
【使用球】 YONEX グリーンボール
【参加定員】 定員は20名(男女比は関係ありません)
定員がオーバーする場合は、本大会はグレードB大会のため、エントリーを締め切った段階で
ランキングの下位者から20名が優先的に選出されます。詳細は、グレードBの選考基準をご確
認ください。
【参加資格】 10才以下の選手(奈良県在住者又は県テニス協会加盟団体のクラブに所属する者)
※試合当日に10歳以下の参加資格を満たしていれば、参加可能とします。
【参加条件】 セルフジャッジで試合を進行することが出来て、タイブレークを理解しているもの。
【参加料】 3000円 ※当日持参
【登録料】 **初回年間登録料として1000円を同時にお支払いください。**
【参加申込】 ①ホームページ『奈良県テニス協会 ジュニア』の大会申込み用紙を用いて必要事項を記入し
naratejunia@nike.eonet.ne.jp に電子メールで申込む事。
※事務局より、登録受付の回答が届かない場合は各自で再度ご確認ください。
【登録】 今後の試合出場を円滑に行うため、出場者は奈良県のジュニア選手に自動登録されます
【ポイント】 U10奈良県ランキングの規定に準じる。
【申込締切】 7月16日(日) 午後5:00まで
クラブの責任者がランキング順に取りまとめて、現在保有しているU10ポイントを正確に記入して
送付してください。同クラブ同率ポイントの場合はクラブ内ランキングが優先されます。
U10グリーンボール事務局 申し込み先 e-mail naratejunia@nike.eonet.ne.jp
【ドロー】 当日抽選 (※ポイント上位者によるシード4名)
エントリーリストは7月20日(木)以降に奈良県協会のホームページにて公開されます。
【キャンセル】 エントリーの取りやめは、16日(日)午後5:00までに naratejunia@nike.eonet.ne.jp に
申し入れること。以降のキャンセルは、欠席でもエントリー料は必要となります。
欠員が出た場合には、エントリーリストの上位者に連絡します。
【その他】
1.本大会参加に伴い入手した個人情報(本大会および本大会に関連する目的以外には使用しません。
(試合風景を撮影し、大会事務局に報告をいたしますので、撮影を拒否する場合は事前にお申し出ください。))
2.競技ルールは【JTA TENNIS RULE BOOK 2017】に準じます。
3.服装規定は奈良県テニス協会のホームページをご覧ください。
<http://nara-tennis.com/junior/junior.html>
4.試合数に影響がでるため、期日以降のキャンセル、当日のキャンセルはご遠慮ください。

U10 奈良ジュニアサーキット 2017 大会概要

U10奈良ジュニアサーキットが創立され、奈良県の低年齢ジュニアプレイヤーの育成に一定の成果が出てきております。そこで2017年の奈良ジュニアサーキットは新しい取り組みとして以下の5つの施策を設けました。

- ①U10参加者へのマナーやルールなどの教育活動
- ②オープンダブルス練習大会の新設
- ③グレードC大会の増設
- ④オープン練習会の増設
- ⑤年間登録料のお願い

①U10の実行員会では、大会の設立と合わせてテニス選手として必要になるマナーやモラルなど、低年齢化が進むにつれて発生してくる様々な問題に対して、子供と保護者の方を対象として情報発信を行うことにしました。2017年はまだ模索する段階ですが、テニス人口の増加と共に「1人の選手のプレイヤーとしてのマナーやモラル」に関しても協会として動いていこうと考えています。

②ダブルスというオープン練習のカテゴリーを追加します。奈良県の現状として、各年齢でのダブルスのパートナーがいないなどの問題から出場を見送るケースが聞かれているので、ダブルスの大会を通じてパートナーを探して県ジュニアにエントリーしていくというような機会になればいいかと考えています。

③グレードC

グレードAとグレードBの中間に位置する子供たちが、「試合に参加できない」という問題に対応しました。

④オープン練習会

ポイントやグレードに関係なく、誰でも参加できる練習会を設置することで様々なレベルの子供たち同士で切磋琢磨できる環境を整備しました。

⑤年間登録料のお願い

大会数の増加に伴い、強化スタッフへの負担も大きくなり、施設の確保が難しくなっております。そこで強化スタッフの負担軽減や、新しく各大会運営のための施設の提供などを踏まえ、U10参加者の方へ「年間登録料」1人1000円の負担を2017年よりお願いすることになりました。新しく大会に参加する場合は、エントリー料金に加えて、「年間登録料の納付」をお願いすることになります。ここで得た収入は全てU10以下の大会運営の目的と、U10を主軸とした奈良県の15歳以下の強化育成事業に使われます。

【ポイント】

| グレードAポイント | | グレードBポイント | | グレードCポイント | |
|-----------|---------|-----------|---------|-----------|---------|
| 優勝 | 8ポイント | 優勝 | 4ポイント | 優勝 | 3ポイント |
| 準優勝 | 6ポイント | 準優勝 | 3ポイント | 準優勝 | 2ポイント |
| ベスト4 | 4ポイント | ベスト4 | 2ポイント | ベスト4 | 1ポイント |
| ベスト8 | 2ポイント | ベスト8 | 1ポイント | ベスト8 | 0.5ポイント |
| 参加 | 0.5ポイント | 参加 | 0.5ポイント | 参加 | 0.5ポイント |

| マスター大会ポイント | | オープン練習会 |
|------------|--------|--|
| 優勝 | 12ポイント | 全員一律 参加者 0.5ポイントのみ ダブルスの場合も同様に1人につき0.5ポイントを付与する |
| 準優勝 | 10ポイント | |
| ベスト4 | 8ポイント | |
| ベスト8 | 6ポイント | |
| 参加 | 2ポイント | |

※大会開催中の雨天中断などにおいては、終了時点での試合結果にてポイントを付与する。
 仮にリーグ途中であれば、勝敗、得失ゲーム差、直接対決の結果などを考慮し、順位をつける。
 試合が行われていない場合は、両者勝者、敗者で得られるポイントを合計し、分割したものを付与する。

【スケジュール】 (改訂版 2017.5.23)

| | 日程 | 予備日 | 会場 | ドロ ー | グレード | コート |
|------|-----------|------|--------------------|---------|-------|-------|
| 第1戦 | 4月30日(日) | インドア | ダイヤモンド TC 学園前 | 20 | A | カーペット |
| 第2戦 | 5月5日(金祝) | インドア | ダイヤモンド TC 学園前 | 20 | B | カーペット |
| 第3戦 | 5月28日(日) | なし | ユニークスタイル(天理市福住運動場) | 20 | C | 人工芝 |
| 第4戦 | 7月17日(日) | なし | 平群テニスアカデミー | 20 | A | 人工芝 |
| 第5戦 | 7月25日(火) | なし | モリタテニススクール学園前 | 20 | B | 人工芝 |
| 第6戦 | 7月27日(木) | なし | ユニークスタイル(五條市阿田峯公園) | 20 | C | クレー |
| 第7戦 | 8月13日(日) | インドア | ダイヤモンド TC 学園前 | 20 | 高オープン | カーペット |
| 第8戦 | 8月22日(火) | なし | 高田総合公園 | 20 | A | 人工芝 |
| 第9戦 | 8月25日(金) | なし | 平群テニスアカデミー | 20 | B | 人工芝 |
| 第10戦 | 8月29日(火) | なし | ユニークスタイル(天理市福住運動場) | 20 | C | 人工芝 |
| 第11戦 | 9月18日(月祝) | なし | 平群テニスアカデミー | 20 | ダブルス | 人工芝 |
| 第12戦 | 10月29日(日) | インドア | ダイヤモンド TC 学園前 | 20 | 低オープン | カーペット |
| 第13戦 | 11月12日(日) | なし | ユニークスタイル(第二浄化センター) | 20 | A | クレー |
| 第14戦 | 12月26日(火) | なし | 学園前ロイヤルテニスクラブ | 20 | B | カーペット |
| 第15戦 | 12月27日(水) | なし | 平群テニスアカデミー | 20 | C | 人工芝 |
| 第16戦 | 12月30日(金) | インドア | ダイヤモンド TC 学園前 | 12 | マスター | カーペット |

※上記の日程は現在決定している内容であり、追加・変更の場合があります。

【グレード】 大会のグレードを「グレード A~C」の3種類設置し、各大会に応じたポイントを付与します。

【マスター】 最終戦が終わった時点での、ランキング上位者はマスター大会に出場できます。

※U10のランキングが奈良県ジュニアのシード決めの参照となります。

【練習会】 オープン練習会は、「ダブルス」と「シングルス」にわかれます。ダブルスは、より多くのクラブが参加できるように、男女のペアも認めます。U10 に参加して、その中でペアを見つける機会にもなるかもしれません。またエントリーは2人のシングルの順位が高い順に選出します。シングルスは、高学年を中心とした「U10 高学年オープン練習会」と「U10低学年オープン練習会」にわかれます。それぞれ誰でも10歳以下であればエントリーが可能ですが、「高学年オープン練習会」は生年月日が高い順に選出します。「低学年オープン練習会」は生年月日の低い順となります。

こちらは表彰もなく、順位もつけない当日、ランダムで試合をしていく練習会となります。

【試合】 16ドローの場合 予選4名(20ドローの場合は5名)でのリーグ戦にて順位を決定 4ゲーム先取
 本戦 予選1位での通過者4名での総当たり戦 6ゲーム先取(ノーアドバンテージ方式)

【コンソレ】 予選通過1位以外の選手は、予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで練習マッチを行います。
 なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより異なります。

【ボール】 グリーンボール コートサイズは通常通り

【登録料】 1年間の登録料として、初回参加の際に1000円が必要となります。

この登録料の有効期限は2017年度の第1戦～第16戦までとなります。

- 【参加資格】 大会実施日に10歳以下であること。
セルフジャッジで試合が進められること
・奈良県在住の者又は県テニス協会加盟団体のクラブに所属している者。
(エントリー後は奈良県テニス協会ジュニア選手として自動的に登録される。)
- 【ポイント】 大会のポイントについては、奈良県 U10サーキットのみの独立したポイントとする。
ただし県ジュニアなどでの12歳以下でのドロー作成のシード順位などに、同率ポイントや、ポイント参照がない場合におけるシードの優劣を決める場合に、同ポイントランキングを参照とする。
- 【エントリー】 全てのグレード、練習会、誰でもエントリーが可能。
ただし定員を上回る場合は、以下の方法で参加リストを作成する。
- ・マスターズは最終戦を終えた時点でのエントリー者上位者12名を選出。
 - ・グレード A は U10 奈良県ランキング上位者より順に選出。
 - ・グレード B 初出場者を含まない、U10 奈良県ランキング下位者より順に選出。
 - ・グレード C は初出場者を含む U10 奈良県ランキング下位者より順に選出。
 - ・U10オープンダブルス練習会は、ペアのシングルの合計ポイントが高いペアより選出
 - ・U10高学年オープン練習会は誰でもエントリー可能 生年月日の高い順より選出
 - ・U10低学年オープン練習会は誰でもエントリー可能 生年月日の低い順より選出

U10 奈良ジュニアサーキットドロワー作成基準

以下のドロワー作成基準は、2017年度の基準となります。現在、奈良県内にどれだけ潜在ジュニアがいるかの把握が出来ない状況ですので、この選考基準は今後よりジュニアたちが競いやすく、また多くの試合経験が浅いジュニアたちが「県ジュニアの前のステップとなる」ように基準を模索していきます。

より良い方法が見つかった場合は、来年度以降に再協議して変更します。そのためのドロワー基準ですが、ガラス張りのドロワーにするために公開させていただきます。

【グレード】 大会のグレードを「グレードA」「グレードB」「グレードC」と3種類設置し、各大会に応じたポイントを付与する。

【試合】

| | | |
|----|--------------------|--------------------|
| 予選 | 4～5名でのリーグ戦にて順位を決定 | 4ゲーム先取 デュース有 |
| 本戦 | 予選1位での通過者4名での総当たり戦 | 6ゲーム先取 ノーアドバンテージ方式 |

※ただし試合進行による遅延や雨天など状況により、試合方式は変更する。

【本戦トーナメント】

本戦トーナメント(準決勝)のドロワーは次の通りとなる。

予選「A」ブロック vs 予選「B」ブロック

予選「C」ブロック vs 予選「D」ブロック

【練習試合】 予選通過1位以外の選手は、予選で終了となりますが、予選終了後、希望者のみで6-6タイブレーク形式での練習マッチを行います。なお、練習マッチの形式は、当日の参加者人数などにより異なる。

【参加資格】 大会実施日に10歳以下であること
※U10大会への参加者は、自動的に奈良県ジュニア登録が行われます。

【エントリー】 グレードA、グレードBとも誰でもエントリーが可能。
ただし定員を上回る場合は、以下の方法で参加リストを作成する。
・グレードAはU10奈良ランキング上位者より順に選出
・グレードBはU10奈良ランキング下位者より順に選出
・グレードCはノーランカー優先で、U10奈良ランキング下位者より順に選出

【シード】シードは上位4名が予選の4ブロックにわかれる。
エントリーランキング1位は予選「A」ブロック
エントリーランキング2位は予選「D」ブロック
エントリーランキング3位は予選「C」ブロック
エントリーランキング4位は予選「B」ブロック

【グレードAの選考基準】
(1)U10ランキング上位者より選出

【グレードBの選考基準】
(1)U10ランキング下位者より選出
(2)ノーランカー(過去にU10に出場したことがない)は出場できない。
(3)以上で決定しない場合は、抽選とする。

【グレードCの選考基準】

- (1)U10ランキング下位者より選出
- (2)ノーランカー(過去にU10に出場したことがない)は優先的に出場できる。
- (3)以上で決定しない場合は、抽選とする。

【オープン練習の選考基準】

- (1)ダブルスはペアのシングルの合計ポイントが高いペアより選出
- (2)U10高学年オープン練習会は誰でもエントリー可能。生年月日の高い順より選出
- (3)U10低学年オープン練習会は誰でもエントリー可能。生年月日の低い順より選出

U10 奈良ジュニアサーキットについて

【趣旨目的】

ドローストック数(試合に出場するジュニアの数)が少ない奈良県は、県内での競争が少ないため、競争力の高い関西や全国の舞台では苦戦を強いられているという現状があります。

また、全日本ジュニア大会へ繋がる、関西ジュニア予選大会への出場枠は、各都道府県のドローストック数(出場者数)に応じて振り分けられることから、奈良県の選手は常に関西ジュニアへ挑戦できる出場枠も、他府県に比べて少ないのが現状です。

そこで奈良県15歳以下のジュニア強化委員は、2014年度より10歳以下の公認大会を設置し、普及・育成に向けて取り組んだところ、12歳以下のドローストック数が兵庫、大阪、京都に続く、ドローストック数となり、低年齢において、県内でも切磋琢磨できるようになってきました。

これらの取り組みより、12歳以下の選手が関西ジュニアでも輝かしい成果を上げてきています。

2017年の取り組みは、低年齢の強化育成と同時に、**「出場者の増加に合わせて、出場者のマナーとモラルの向上」**を重要視しています。

一人でも多くの選手がエントリーすることで「少人数で競争力の低い奈良県」から、競争力が高い、層の厚い奈良県にしていきたいと考え、U10の活動がスタートしましたが、その成果は着実に表れてきています。

昨年度は奈良県から全国優勝する選手が出てきて、12歳以下の関西ランキングでも上位に奈良県の選手が複数人食い込めるようになってきました。またエントリー数は、他府県よりも大幅な伸び率を残しています。「テニス強県奈良」が少しずつ現実のものになってきている手ごたえを感じています。

そしてその先には、ソフトテニスのように「テニス強県」として全国で戦っていける総合力を養っていきたいと考えておりますので関係者様、コーチの皆様、そして保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【奈良ジュニアサーキット大会の目的】

(1) 低年齢での育成

現在、奈良県における12歳以下のドローストック数の平均は、男子100～120名、女子32～48名となっています。他府県と比較してみると、強豪県と呼ばれる県は、男子200名前後、女子120名前後となっており、その差は競技成績にも影響しています。そこで、奈良県においても12歳以下での競技人口の増加を視野に入れた10歳以下の低年齢期での大会を設置することで、早期に試合に出場する競技者テニスに移行できると考えています。

(2) 地域の活性化

低年齢期での競争力の強化を図ることは、現在スクールに通う子供たちへの目標設定としても効果を持ちます。グリーンボールを使用することで、10歳以下の技術が未熟な子供たちでも、ゲームを楽しむことが可能になり、テニスへの新しい興味の要素が増えると考えます。また民間企業の協力により、各地域や各スクールに応じた大会を実施出来ることは、地域ジュニアの普及・育成にもつながります。

(3) ゲーム能力の向上

奈良県以外の各都道府県においては10歳以下の大会などを設置し、低年齢から競争をおこなっており、その低年齢強化への流れは、10歳以下のプレイ&ステイプログラムの普及とともに加速しています。プレイ&ステイのボールは通常ボールよりも弾みやスピードを抑えられるため低年齢においても、十分にゲームを楽しむことができ、またテクニックを磨くことができます。低年齢から試合環境を設置し、戦略・戦術の要素を持ちながら、必要なテクニックを磨いていくことにより、U12の競技力の向上に繋がります。